

小国高校

vol 186

2012.9

ジャーナル

地域文化学 特集 その1

1年生が「総合的な学習の時間」で取り組んでいる地域文化学の各班の活動内容の経過を3回に分けて報告します。(今回は1回目)

ご指導を頂いている大学の先生		
1班	山形大学 地域教育文化学部 生活総合学科	川邊 孝幸 先生
2班	山形大学工学部 理工学研究科	高橋 一郎 先生
3班	東北文教大学短期大学部 総合文化学科	菊地 和博 先生
4班	東北公益文科大学 公益学部	呉 尚浩 先生
5班	米沢女子短期大学 日本史学科	原 淳一郎 先生
6班	羽陽学園短期大学 専攻科福祉専攻	佐々木達夫 先生

地域文化学とは

「地域文化学」は、本校1学年が行っている総合学習です。自分の住んでいる「地域」を知ることによって日本の文化を知り、そのことで国際理解にも役立つ大切な学習と位置づけています。また、小中校一貫教育で行っている「白い森学習」を発展させる学習でもあり、大学の先生方に指導を受ける貴重な機会ともなっています。(高大連携) 今年度は11月20日に校内での発表会を行う予定です。

5 班

【日本宗教史（山岳信仰）】班

米沢女子短期大学 日本史学科 原淳一郎 先生

テーマ「石造物から歴史を見る」

調査の内容は、小国町にある石造物を探し、石造物に刻んである文字を読み取って、石造物がつくられた意味や当時の時代の背景などを調べています。石造物からその当時の地域の信仰や、人々の思いなどが読み取れるので、班員全員歴史を勉強しながら興味深く学んでいます。古くからある石造物は、石が削れてしまい読み取れないものもあり調査が困難なこともあります。小国町の大自然を感じながら楽しく調査しています。

